

第3次計画の骨子（案）

基本理念	文化芸術でつながる、豊かな未来（仮）			
めざす姿	● 誰もが文化芸術に親しみ、日常的に鑑賞・創作活動を行っている。 ● 文化芸術への理解が深まり、人から人、大人からこどもへ、その価値が伝わっている。 ● 文化芸術の力が社会の中で生かされ、まちの魅力やまちへの愛着が生まれている。			
基本目標	1 豊かな個性と創造性あふれる人づくり		2 文化芸術と人々がつながり、社会に広がる仕組みづくり	3 文化芸術の創造を推進するための基盤づくり
基本施策	基本施策1 <みる・ふれる> 多様な鑑賞・体験の機会の拡充 文化施設に加え、様々な場所で多様な文化芸術に触れる機会を増やし、市民が気軽に鑑賞・体験でき、文化芸術の魅力を感じられる環境をつくります。特にこどもの鑑賞・体験機会を増やします。 ブラッシュアップ	基本施策2 <つくる・つたえる> 活発な創作活動の推進 市民の創作活動の場やその成果を発表する様々な機会を提供することで、子どもから大人まで活発な創作活動を推進し、活動の活性化と質の向上を図ります。	基本施策3 <むすぶ・つながる> 文化芸術への関わりしろの創出 主体的に文化芸術に取り組む・支える市民を増やしていくため、様々な分野と連携もしながら、文化芸術への関わりしろをつくります。 ※コラムなどで関わりしろの説明を入れる ブラッシュアップ	基本施策4 <つかう・いかす> 文化芸術活動を支える基盤整備 文化芸術活動を支える拠点として、施設の特長や機能を生かし、多様な文化芸術活動を支援します。また、地域の文化的魅力を広く発信するとともに、文化芸術の価値を市民に伝えていきます。 ブラッシュアップ
	（1）文化芸術の魅力に触れる機会の拡充 気軽に参加できる公演・講座のほか、地域等へのアウトリーチ活動や、公共的空間での作品展示、新たな文化イベントの誘致など、誰もが日常の中で文化芸術の魅力を感じられる機会を提供します。 合体	（1）市民の創作・発表機会の充実 市民が気軽に創作活動に親しむ機会をつくるとともに、公募展や参加型公演等を開催し、日頃の活動成果を発表できる場を提供します。	（1）創造的な活動を推進する市民主体の体制づくり 作家の制作をサポートし、また自ら文化芸術活動を行う市民主体の創造的な体制と活動の場づくりを進めます。また、文化芸術に関する市民活動をまとめる制作側の市民を育成し、将来の地域文化の推進者となるための仕組みをつくります。	（1）魅力的な文化施設の環境整備 コンサートホール・能楽堂や文化ゾーンなど、各施設やエリアの特長を生かした、行きたくなる・使いたくなる環境整備を進めていきます。また、所蔵する美術品の適切な管理を通じ、文化的アイデンティティや地域への愛着・誇りの醸成を図ります。 ブラッシュアップ
取組内容	（2）幅広い分野の文化芸術に親しむ機会の拡充 美術館、博物館、コンサートホール・能楽堂、市民文化会館等の文化施設において美術、音楽、舞台芸術など様々な分野の公演や展覧会等を開催することで、古典芸能から現代の新たな表現まで、幅広い文化芸術の鑑賞・体験機会を提供します。	（2）若手芸術家の活動・発表機会の充実 若手演奏家による公演の開催や、音楽・舞台芸術・人材の育成などを充実し、次世代を担う活動者の支援や育成を図ります。	（2）文化芸術を支える人材の掘り起こし ボランティアなど文化芸術活動を支援する市民、自身のスキルや経験を地域のこどもたちへ還元する人材を掘り起こします。 新設	（2）文化芸術の魅力や価値を伝える取組の推進 公演やワークショップなどの文化芸術に関する情報を、効果的かつ戦略的に発信することで、市民への周知と関心の喚起を図ります。あわせて、文化芸術が持つ魅力や価値を伝え、理解の促進につなげていきます。
	（3）こどもが文化芸術に出会う機会の拡充 未来を担うこどもたちの鑑賞・体験機会を拡充します。特に、こどもを取り巻く様々な社会環境の変化に対応するため、家庭や学校、地域等にアプローチを図ります。 新設	（3）文化活動団体間の交流と連携の促進 様々な分野の文化活動団体が連携して、文化事業を企画・実施することで、新たな発見や他分野への理解が促進され活動の質が向上する機会をつくります。	（3）文化芸術と様々な関係分野との連携 観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業、など様々な分野との連携した（例えば文化芸術ツーリズムなどの）取組を推進することで、社会の中で文化芸術の力を生かし、その価値を高めます。 合体	（3）施設職員の専門性強化 専門性をもった外部組織などと交流や連携を深め、施設スタッフの専門性を強化するとともに、コーディネート力の向上を図ります。 ブラッシュアップ

（参考）第 2 次計画【改訂版】の骨子

基本理念	人々が心の豊かさを感じ　まちと市民の活力を生み出す　多様な文化芸術の創造			
めざす姿	● 子どもから高齢者まで、幅広い市民が文化芸術に親しみ、積極的に鑑賞・創作活動を行っています。 ● 様々な市民が、文化芸術活動を通じて地域の魅力発掘やまちづくりに関わり、豊かさや充実感、達成感を感じています。 ● 文化芸術の力が社会の多様な場で生かされ、いきいきとしたまちの推進力となっています。			
基本目標	1　豊かな個性と創造性あふれる人づくり		2　文化芸術が人々をつなげ、社会に広がる仕組みづくり	3　文化芸術の創造を推進するための基盤づくり
基本施策	基本施策 1　　<みる・ふれる> 多様な鑑賞・体験の機会の拡充 文化施設に加え、様々な場所で多様な文化芸術に触れる機会を増やし、気軽に市民が鑑賞・体験できる環境をつくります。特に子どもの鑑賞・体験機会を増やします。	基本施策 2　　<つくる・つたえる> 活発な創作活動の推進 市民の創作活動の場やその成果を発表する様々な機会を提供することで、生涯にわたる活発な創作活動を推進し、活動の活性化と質の向上を図ります。	基本施策 3　　<むすぶ・つなげる> 活動する人々の連携とまちの活性化への展開 市民が主体的に文化芸術に取り組む新たな活動の場づくりを推進していきます。また教育・福祉・観光など幅広い分野に文化芸術の力を生かすことで、まちの活性化に寄与します。	基本施策 4　　<つかう・いかす> 文化芸術活動を支える基盤整備 ハード、ソフト両面での機能改善を図り、各施設の特性を生かした文化芸術活動を支える拠点として、その専門性を強化していきます。また市内外の文化芸術に関する情報を収集・発信していきます。
	（１）気軽に文化芸術に出会う機会の拡充 文化施設での気軽に参加できる公演や展覧会のほか、学校や地域等へのアウトリーチ活動などを積極的に展開し、様々な市民が身近に文化芸術に触れる機会を提供します。	（１）市民の創作・発表機会の充実 市民が気軽に創作活動に親しむ機会をつくるとともに、公募展や参加型公演等を開催し、日頃の活動成果を発表できる場を提供します。	（１）創造的な活動を推進する市民主体の体制づくり 作家の制作をサポートし、また自ら文化芸術活動を行う市民主体の創造的な体制と活動の場づくりを進めます。また、文化芸術に関する市民活動をまとめる制作側の市民を育成し、将来の地域文化の推進者となるための仕組みをつくります。	（１）施設環境整備による安全性・利便性の向上 文化芸術活動の場としての利用を促進するため、利用者ニーズや時代の変化に応じた修繕や改修を行うことで、利用者の安全性や快適性の向上を図ります。
	（２）幅広い分野の文化芸術に親しむ機会の拡充 美術館、コンサートホール・能楽堂、市民文化会館等の文化施設において美術、音楽、舞台芸術など様々な分野の公演や展覧会等を開催することで、古典芸能から現代の新たな表現まで、幅広い文化芸術の鑑賞・体験機会を提供します。	（２）若手芸術家の発表機会の充実 地元の若手芸術家が活動成果を発表する場として、若手演奏家による公演の開催や、舞台芸術人材の育成などを充実し、次世代を担う活動者の支援や育成を図ります。	（２）文化芸術による地域資源の再発見と発信 市内の様々な地域の魅力を市民が文化芸術を通して再発見し、発信していく事業を推進することで、市民の創造性・企画力・地域への新たな視点を養い、まちへの愛着と活性化に寄与します。	（２）文化芸術活動拠点としての情報発信 公演・催事、ワークショップ等の文化芸術に関する市内外の情報を収集し、効果的に情報発信する仕組みをつくり、市民の文化芸術活動を支援します。
	（３）公共的空間等の活用による文化芸術の浸透 公共的空間や商業施設等での作品展示や舞台公演などの機会を増やし、日常の場での文化芸術の浸透を図ります。また、新たな文化イベントの誘致・開催を推進し、市民が現代の文化芸術表現に接する場を増やします。	（３）文化活動団体間の交流と連携の促進 様々な分野の文化活動団体が連携して、文化事業を企画・実施することで、新たな発見や他分野への理解が促進され活動の質が向上する機会をつくります。	（３）文化芸術と様々な関係分野との有機的な連携 学校等へのアーティストの派遣や市民参加型公演などを通して、教育・福祉の現場と連携した取組を行います。また、民間や地域など、多様な主体と連携することで、社会の中で幅広く文化芸術の力を生かします。	（３）施設職員の専門性強化 専門性をもった外部組織などと交流や連携を深め、施設スタッフの専門性を強化するとともに、コーディネート力の向上を図ります。

